

プラグ（写真7, A）をはずして、ケース内の古いオイルを出します。ドレイン・プラグを軽くしめ、洗浄用にオイルを少量入れ、数分間エンジンをまわして内部をすすぎ、ドレイン・プラグをはずして再びオイルを出します。ドレイン・プラグをきれいに洗ってから、しっかりと取り付け、注油口に一杯になるまで新しいオイルを入れます。量は約450ccです。終わったら注油ボルトもしっかりと締めして下さい。オイルは、ベスパ・ペンゾイル又はSAE30～40の鉱物性エンジン・オイルを必ず使用して下さい。

エア・フィルターの掃除（写真8参照）

取付けネジ“C”をゆるめ、フィルター・カバーをはずします。エア・フィルターを取り出し、洗油が灯油で洗い乾かしてから、フィルター・オイルか指定の2サイクル・エンジン・オイルを軽くしみ込ませて取り付けます。

馴し運転後のチェック

車を使い始めてから1000km走行するまでが馴し運転の期間です。この期間は長時間スロットルを全開にしないよう注意して下さい。1000km走行後、トランスミッション・オイルを交換し、ネジ類のゆるみをチェックします。特に車輪の固定ナット類は十分に締め付けて下さい。ネジ類のゆるみは定期点検時にも必ずチェックして下さい。

4000kmごとのチェック

1. トランスミッション・オイルのレベルをチェックします。不足していたらオイルを追加します。
2. 各種のレバーの可動部及びコントロール・ケーブルにグリスをぬります。
3. マフラー、シリンダー・ヘッド、ピストン等のカーボンを落します。
4. スパーク・プラグ及びエア・フィルターを掃除します。
5. バッテリーの電解液のレベルをチェックします。不足していたら補充液を追加して下さい。